

飛騨市 古川南部地区

令和3年度

【地域の概要】

- 古川南部地区 地区内耕地面積 131ha
- 後継者のいない耕作面積 12ha
- 今後、中心経営体が引き受ける計画耕作面積 78ha
- 土地改良事業を行うことで、中心経営体への集積を加速する

①取組開始前の状況や課題

古川町南部地区は、山間地である当市の中でも平坦な土地が多い地区である。担い手の活動も他地区と比較しても活発な地域である。現状の課題を克服すべく土地改良事業も行われ、今後より集積を進めて行く。

☆地形による課題

- 狭小な農地も多いため借り手がない
- 山地のため管理が大変
- 山地のため集積が難しい
- 高低差の激しい農地も多くあり、畦畔が大きく管理が重労働

☆人が原因による課題

- 高齢化が著しい
- 後継者がいない
- 所有者の農地に対する意識の違いが大きくなっている。

☆その他

- 機械が高く、購入して迄、営農続けられない。

②取組内容

地域の状況調査（令和4年6月）

- 地域農地の現状把握
利用状況調査を含め、農地の現状を詳細に把握

地域農家との会議（令和4年8月）

- 農地の現状を共有

担い手との会議（令和4年11月）

- 現状と今後の意向や取り組みについて

③今後の展開と方向性

担い手との連携

- 情報共有
- 話し合いの場の構築
- 土地改良への取り組み強化
- 農業振興課との連携

上記等により、集積の活性化を図る。

